



### 藤原ダム探検

階段をおりも、地下道のまじりになって、ずっと奥に3ついている。とちも「ん、地震計があった。」「温度計もあって、湿度を計っていた。」「じつは、この地下道は、監査廊として、ダム(堤体)の中を渡るために作られたものなんだ。地震計も温度計も、そのためにおかれているんだね。」



それ、監査廊のむきをずーと何本もの電線がとちも入るけど、これでもすくすく探検できるんだね。うんうん、こーなんだ。

### ダムの真下で、ハイニンター！ 地図



「あっ、クマがいる!」みんな注目!

監査廊を歩いて、外に出ると、「そこはダムのすぐ真下!」下から見ると、ダムの高さ、大きさがすくすくわかるね。いちばん上のまんなか

なからなるのが水門で、とちも「クレストゲート」といって「クレスト」とは「頂上」という意味なんだ。この「ゲート」って洪水調節として台風などの洪水時に川を流れる水の量を減らすための操作を定めているんだ。



クレストゲートは3門、別々に開閉できる

そうするから、洪水の一部をダムにためて、川の水が堤防からあふれないようにできる、というわけなんだ。

クレストゲートからは、いきいきよく水が流れ落ちるので、そのいきいきを「ゆるゆる」するための池がダムのすぐ下にある。この池を、減勢池といふよ。だから、その先に、強い水の流れを、じつとまをえるための、副ダムもあるの。

「……というように説明を聞いていたとき、減勢池の対岸の林の中に、子どもとちを発見! こども自然は、じいじの藤原ダムならではの「コアラ」だね。」

### 「表面取水塔」の中も探検した! 地図

そこから、じいじさんの中、監査廊へもとちも、エレベーターにのってダム(堤体)の上まで行くって、展望台のすぐ前、塔のまんなかが見えた。



特別に表面取水塔の中も見ることができた

い水ではなく、水面近く表面のあたりに水を取り入れるからなんだね。そうすると、農作物や川の生きものたちの生育にいいんだ。高い塔の下には、太い鉄のロープが下がっている。塔の中には、このロープを巻き上げたり、下げたりできる機械がある。それで、水門をあげたり、下げたりするわけだ。

### 「操作室」で管理してるんだね! 地図



最後「藤原ダム管理室」の事務室に入り、その中の「操作室」へ。たくさんボタン、スイッチ、たいてい大きなパネルが並んでいる。いままで見てきた、放流管バルブやクレストゲートなど、ダムから水を流すしくみは、ここから操作しているんだね。



ほかのダムからもデータが送られてくる。いろんなダムが力を合わせて川を守っているんだね



い、ダムの下流はどんなふうか、テレビ画面で見られる

どくらいの水がたまっているか、どのダムからどのくらいの水が出るのか、知っているかなければいけない。そういう情報は、ここでは1分ごとにとわかるようになっていっているんだ。

それ、この藤原ダムの流のようすも、テレビカメラを通じて、この画面などでわかるようになっている。そして、ダムから水を流すときは、アウンスやサインなどで下流の人たちに知らせるという、これもここから操作しているんだ。

ダムって、上流から下流まで、いろんなかわりがあるんだね。

### ドキドキしたーびゅくりしたー

有里さん、おとうでは見られないダムの内側まで見られてたために、あんなに興奮した。興奮さん、ダムの中はちよーとむかわら、でも、ダムってやっぱりすくすく「思った」。

雅彦さん、はじめてダムを見た、すくすく大きくてびゅくりした。

恵奈さん、ダムの中は洞窟みたいで楽しかった。みんなを探検できておもしろかった。みんなど探検できておもしろかった。みんなど探検できておもしろかった。みんなど探検できておもしろかった。

知深くん、ダムの中は階段を上り下りして大変だった。そうやって、ダムの人々が働いているんだと「思った」。

きょうはおつつかさま。また、探検隊に参加してよ。

それか、この藤原ダムの上流のダム、奈良県、矢野川ダム、このようすも、ここでもわかるようになっていっている。なぜか、この藤原ダムは、上流のダムから出る水の通り道になっているからなんだ。だから、いつも、このダムに